

楽しみいろいろ キャンピングカー!

自由に移動し、寝泊まりできる快適さ。まるでホテルのような車内の高級車も。昨今、キャンピングカーの人氣が高まっている。購入するにはハードルが高めだが、レンタルカーなら気軽に利用できる。数年前にわずか数社だったキャンピングカーのレンタル会社は全道で30社以上に増えた。

▽所在地 蘭越町湯里224の19
▽電話 0136・58・3465
▽受付時間 午後1時～翌日午前11時

▽料金 入場料大人1人千円、カーサイト1区画3千円ほか
▽営業期間 通年
▽備考 ペット可、たき火可、各種レンタル品あり
※北海道ノマドレンタカーの問い合わせ先は☎0123・21・8572



ニセコサヒナキャンプ場—後志管内蘭越町 キャンピングカーOK



その一つで道内最大手の北海道ノマドレンタカー(札幌)は2016年に3台から始め、今や新型車など25台を貸し出す。阿部晋也社長50は「訪日外国人旅行者の利用が主でしたが、ここ2年は国内客がほとんどで道内と道外が半々。家族だけで自由な旅に出かけたり、ペットと一緒に気兼ねなく過ごしたりしたい人が多い」と話す。同社の場合、料金は冬季利用で1日3万円ほどが中心だ。

キャンピングカーは種類が多様化している。暖房用ヒーターやガスコンロ、テーブルなど装備が充実した約1200万円の高級車がある一方、車中泊用に改造したワゴン車も。軽トラックの荷台に載せて使う、寝泊まりできる家具付きの「キャンビン」まで登場し、100万円ほどで購入できる。

ただ、キャンピングカーであれば、どこでも車中泊ができるとは限らない。トイレや水道、就寝時の静かさなどの要素を満たす場所なら、キャンプ場を利用するのが一般的で安心だ。

後志管内蘭越町の「ニセコサヒナキャンプ場」は、そんな施設の一つ。民間キャンプ場として25年目の冬シーズンを迎える「老舗」だ。オーナーの松橋秀人さん(66)が3年半かけて見つけた場所だ。4年半かけて仲間と手作りでサイト。キャンプ雑誌の特集で「日本一のキャンプ場」と評されたこともあり、あこがれの地として全国にその名をはせる。

④サヒナキャンプ場を訪れた高級タイプ(左)と軽トラックタイプ(右)のキャンピングカーと利用客ら
⑤高級タイプのキャンピングカーの車内。5人まで寝られ、各種装備も充実



まきストーブや炊事場を備えたセンターハウス



俊吾

この冬、キャンピングカーのレンタルで新しい旅のスタイルを楽しんでみてはいかがだろうか。
(アウトドアライター・花岡)